

人権教育啓発標語入選作品

西小学校

考えて きずつく相手の その気持ち
あたたかい 君の笑顔に はげまされ
「遊ぼうよ」 なかよくなれる おまじない

最優秀賞 六年	優秀賞 五年	優秀賞 五年
横山 桃子 よこやま ももこ	鈴木 朝香 すずき あさか	金井 彪翔 かない ひょうしょう

東小学校

認めよう みんなちがう すてきな個性
どうしたの？ やさしいひとこと ほっとする
聞いてあげよう 気づいてあげよう 友達のSOS

最優秀賞 六年	優秀賞 一年	優秀賞 三年
平石虎太郎 ひらいし こたろう	清水 春翔 しみず はると	石井 佑樹 いしい ゆうき

人権教育啓発ポスター入選作品

《中学生の部》

ひとりひとりの 人権を守ろう



千代田中学校3年 たじま 田島 りりか 璃々加
(最優秀賞)



人にやさしいまちづくり

千代田町

令和3年度 人権教育啓発資料



千代田町人権教育推進協議会
千代田町教育委員会

人権教育啓発作文入選作品

(最優秀賞) 人権を守り、いじめをなくす

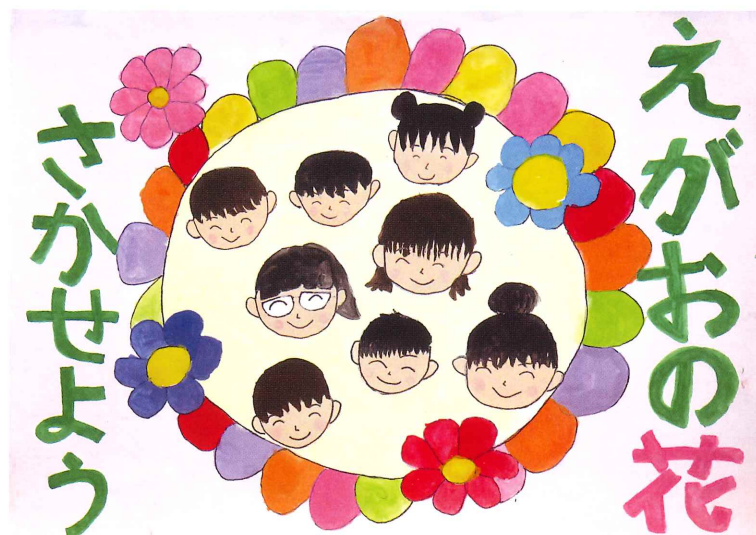
千代田中学校1年 大谷 典久 おおや のりひさ

先日、僕は小学生が言い争っているところを見かけた。それは、僕が知っているAさんとBくんだった。「死ね」や「きもい」などの言葉を言っていた。すると、Aくんは笑った表情でどこかへ行ってしまった。しかし、Bくんはその場で泣いていた。僕はどうすることもできないまま家に帰った。

いつものようになんとなくテレビをつけた。目に入ってきたのは「いじめ」のニュースだった。中学三年生のYさんが「いじめ」が原因で自殺をしたと報道されている。自殺をしたYさんに対して、クラスメートから「死ね」や「消えろ」などといった言葉を言われていたらしい。ひどい言葉だと僕は思った。しかし、中学生の間では日常的に使われている言葉なのかもしれない。僕が通っている中学校でも、ふざけて悪口を言っている生徒だっている。さらに、こんなことも報道している。Yさんは周りに助けを求めているらしいが、周りが何もしなかったというのだ。いわゆる、見てるだけの「傍観者」と呼ばれるものだ。僕は胸が痛くなった。

人権教育啓発ポスター入選作品

《小学生の部》



西小学校2年 高橋 凛花 たかはし りんか
(最優秀賞)

見つめよう わたしの人権



人権教育啓発ポスター入選作品

《小学生の部》



東小学校1年 吉永 芽紗 よしなが めいさ
(最優秀賞)

考えよう あなたの人権



このニュースを見て、僕はこれまでの生活を振り返ってみた。「死ね」などの悪口を言っていないか、「いじめ」や「けんか」を見ていただけの傍観者になっていないか。すると、僕は頭の中ではつきりと覚えていることがあった。AくんとBくんの言い争いだ。僕はあの時、見ていることしかできなかった。つまり、「傍観者」になっていたのだ。僕は深く反省した。そして、二度とあのようなことはしないと決めた。あの時の、あの行動が自殺をする人まで出してしまおうと考えると、鳥肌が立った。

「いじめ」や「けんか」など、人を傷つけることは絶対にいけない。では、こういったことを防ぐためには、どうしたらいいのだろうか。

一つ目は、相手のことをよく考えて行動することだと思う。自分だったらされてどうか、ということを考えれば悪口などは減ると思うからだ。

二つ目は、傍観者にならないことだ。ただ見てるだけでは何も変わらない。声をかけたり、相談にのってあげるなど、行動に移すことで、助けてあげることができるようになるからだ。

僕は今、人権について学んでいる。人の権利をうばわないためには、人それぞれがよく考える必要があると思う。明るく楽しい未来のために今、僕ができることは、一つ一つの行動を改めることと、周りの人に「人権」というものを広めることだと思う。